

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	しびらきっず				公表日	令和8年 3月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		基準のスペースを確保しております。	利用する学年や人数によって狭く感じることもあるかもしれません。事故防止等気を付けて支援にあたります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		基準の職員配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	2	賃貸物件のため、バリアフリーが難しい箇所があります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日掃除を行い、清潔を保っています。家具の配置等心地よく過ごせるよう考えて環境設定をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2		広さを確保するためワンフロアになっています。個室が無いため、パーテーションなどで個別の環境が作れるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		職員全員で取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		全員で保護者の意向を把握する機会を設け、話し合い、改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		個別に聞き取りの時間を設けています。また、積極的に業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者による外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		内部、外部研修に職員を派遣し、計画的に研修の機会を設けています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		支援プログラムは作成し実施しております。HPにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		会義にてニーズや課題の分析を行い、計画作成をしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		こどもの支援に関わる職員全員が会議に参加し、意見を交わして検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		共有した計画に沿って支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		アセスメントシートや日々の記録などを用いて職員間で共有しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		ガイドラインに沿った支援内容を、支援計画に反映させ、具体的な支援方法を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		チームで立案したものを全体で確認し意見交換を行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		毎月の会費でプログラムを検討しています。季節ごとの行事や目的を持ったプログラム作りをしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を取り入れ、支援を行っています。	取り組みがより明確になるよう日々の記録やプログラムに反映していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		職員朝礼を行い、プログラムの内容と目的、役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		勤務の都合上、全員での打ち合わせは難しいですが、職員間での振り返りを行い、共有しています。	送迎後に保護者からの引継ぎを含めて振り返りをしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日支援の記録をし、毎月個別の振り返りを行っています。特記事項を全員で共有し、会議にて検証改善を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		決められた期間でモニタリングを実施し、必要に応じて支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		複数の活動を組み合わせ支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4		自己選択できるような環境作りを行い、適切な声掛けを行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		管理者及び児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	必要に応じて連携しています。	主に相談支援事業所と連携していますが、それ以外の関係機関とも連携して支援が行えるよう体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校のお迎え時に、担任から学校での様子について確認をしています。	学校と明確な取り決め等はないため、情報共有、連絡調整がスムーズに行えるよう関係構築に努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	相談支援専門員を通じて情報共有をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	該当する児童がまだいませんが、提供できるよう準備します。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1	今年度は機会がありませんでしたが、今後助言をいただく機会を作ります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		地域で開催されている「みんなのひろば」に参加し、地域住民の子どもたちとの交流を図りました。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		桜区障害者支援地域協議会のこども部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時に伝えあい、必要に応じて面談を行い、子どもについて共有しています。	送迎時以外でも、気になることがあった際は気軽に連絡をし合える関係や手段を構築していきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	必要に応じて助言等を行い、支援機関とつなげる支援を行いました。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明をしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		子どもや保護者からの聞き取りを行い、意向の確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		契約時に説明し、同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		相談を受け、必要に応じて助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1	今年度は5月と2月に開催しました。2月に親子レクを開催し、保護者同士、きょうだい同士で交流する機軸を設けました。	来年度も年2回の開催を目指します
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情があった場合は速やかに対応し、再発防止に取り組んでいます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		毎月おたよりを発行し、連絡事項や活動の様子を伝えています。インスタグラムなどのSNSでも情報発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報について契約時に確認し、適切に管理しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		子どもの発達や特性、保護者に合わせた配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		法人全体で積極的に取り組んでいます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルを作成し、契約時に説明、配布をしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定し、年2回避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		服薬や発作の状況など受け入れ時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者から情報をもらい、対応をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全確保についてマニュアルを作成し、措置を講じています。また、救急訓練などの研修を受講しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			保護者と連携が図れる取り組み内容について周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハット・事故報告書を作成し、再発防止策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		内部、外部研修に職員を派遣し、計画的に研修の機会を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		法人内で身体拘束について検討し、必要に応じて説明と了解を得て支援計画に記載しています。		